



町長室だより

築上町長 新川 久三



若葉の季節となり、爽やかな日々が続く今日この頃です。しかし、熊本県・大分県での頻繁に続く地震が気がかりです。被災された皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。

町民から多くの支援物資届く

17日、築上町のボランティア団体「一心ノ会」の代表である石川さんが現場写真を持参し、「16日、一心ノ会の5名が益城町に飲料・インスタント食品・おむつ等を4トトラックで届けてきました」との報告に由来されました。また、町民ゴルフ大会の参加者から3万円を超える募金をいただきました。

早速、町では全課長で組織する庁議で震災救援を決定し、本庁舎玄関と支所玄関に義援金箱を設置しました。

18日午後から支援物資の提供を町民の皆様と呼び掛けたところ、21日午後8時までには300名近く

の皆様から多くの物資をいただきました。被災地の自治体と連絡を行った結果、20日に熊本県阿蘇市へ、22日に菊池郡大津町へ支援物資の提供と業務応援に行くことに決定いたしました。

2トトラック・4トトラックに物資を満載し、副町長以下職員と地域おこし協力隊の船木陽子さん、ボランティアの申し出があった熊本大学4年生（避難のため帰省中）の川崎さん、「一心ノ会」の皆さんと熊本県の被災地に届けました。

西高塚の息子さん宅（築城基地勤務）に避難をしていた熊本市在住の渡辺さんから「水を入れる容器が欲しい」との要請が総務課職員にあり、水道課で備え付けの携帯容器20個を託したところ、20日午前10時ごろ電話があり「近所の老人世帯に配布して大変喜ばれた」と築上町の行為に涙ぐみながら感謝の言葉を頂戴したところでした。

福岡県の名勝協議会設立へ

旧藏内邸は庭園と建物全体が昨年3月に国の名勝指定を受けました。県内には6自治体に国指定の名勝があります。

柳川市、みやま市、飯塚市、川崎町、添田町、築上町とで6月26日に添田町で福岡県市町村名勝庭園協議会（仮称）を発足する予定となっております。

発足後は名勝の維持管理についての意見交換会、観光パンフレットの共同作成、国県への要望活動等を行っていくこととなります。

大相撲五月場所

松鳳山関に期待

5月8日から大相撲が始ります。二場所不振の松鳳山関ですが今場所は勝ち越さなければ再度十両行きになるかもしれません。大勝をして小結若しくは幕内上位を目指して欲しいものです。町を挙げて応援しましょう。

穏やかで過ごしやすい時季になります。町民の皆様にはご自愛いただきますようお願い申し上げます。



京築神楽チャリテイ公演 益金などによる義援金を 被災地へ

築上町コミュニティセンター（ソピア）で東日本復興のための「京築神楽チャリテイ公演」が3月開催され、その収益金などによる義援金184,283円の贈呈式が3月25日、築上町役場会議室で行なわれました。この義援金は、築上町を通じて、宮城県へ贈られ、東日本大震災の被災者の生活支援のために活用します。小原神楽講の蛭崎副講長は、「今後も、神楽を通じて被災地を応援するとともに、一日も早い復興を祈っています」と述べられ、新川町長は、「皆さまの温かい気持ちを義援金とともにしっかりと伝えて宮城県に贈ります」と答えました。